



ひろば



令和5年6月30日 発行

子供たちが育てた「キバナコスモス」

備えあれば憂いなし -命を守るために-



沖縄に続き、奄美地方にも梅雨明け宣言が出されました。ここ最近では連日の快晴。先日の大雨がまるで嘘のようです。6月21日（水）は線状降水帯が奄美大島南部にかかり、降り続く雨に道路も冠水し、校庭も池のように水がたまり正門の階段からは滝のように水が流れていました。児童の安全確保を最優先するため、本校もやむをえず臨時休業としました。その前日の話です。学校も避難所になると思い、山間の自宅から学校に向かいました。心配した澤さんが消防車に乗せてくれましたが、雨は激しさを増し、満潮時間も迫り、途中、川があふれて冠水しており、山間

に引き返して学校にはたどり着けませんでした。私の住む住宅は、すぐ上を小さな川が流れています。降り続く雨や夜ということもあり、状況も確認できないので、山間公民館に避難しました。事前に準備をしていなかったため、慌てて避難準備をしましたが、あれもこれもとかごに詰め込み、夫と二人で避難所を訪れたときには、何日分？というくらいの大荷物になってしまっていました。幸い、満潮時間を無事に過ごし、雨の勢いが弱まった10時半頃には家に戻りました。大荷物の中で使ったのは水筒とタオルぐらいでした。雨は翌日まで激しく降り続き、21日は教頭による早朝の確認、住用支所の方からの情報と目でも見た各集落や通学路の状態、校内の状態から自宅待機、臨時休校としました。また、電話で全家庭への被害状況の確認もさせていただきました。避難された方、前夜帰宅できなかった方もいらっしゃいました。皆さん心身ともに大変な思いをされたことと思います。今回、学校と児童の各家庭に大きな被害はありませんでしたが、今後、台風シーズンもやってきます。「天災は忘れた頃にやってくる」「備えあれば憂いなし」と昔から言われます。いざというときに自分の身を守るための行動をとることができるように、今回の大雨を教訓にし、早めに危険箇所の確認や防災グッズの確認をしておきたいものです。

思ひつつ寝ればや人の見えつらむ
夢と知りせば覚めざらましを

小野 小町

高校時代、憧れていた陸上部の先輩とは一度も話したことがなく、友だちとキヤーカー言いながら眺めているだけだった。あの先輩はどうしているだろう。せめて夢の中でも話すことができたら、なんて考えていたのは三十年以上前のことである。

文頭の歌は、平安時代に小野小町によって詠まれた歌である。「思いながら眠りについたので、あの人が夢に現れたのでしょうか。もし夢とわかっていたら夢から覚めないでいたのに……。」世界三大美女ともいわれる小野小町は、当時は恋多き女性だったらしい。恋の歌も数多く残している。今の時代のように、恋する人と頻繁に会うことも許されず、スマホで顔を見ながら語り合うなんてこともできない時代。また、電話やSNSでの気軽な言葉のやりとりもできなかった時代のことである。

当時の人々は、思いや考えを歌に託して伝えた。そして「夢」に望みをかけ、夜、床に就いた。せめて夢の中だけでも逢っていたい。夢でもいから永遠にその時間が続いてほしい。なんとも切なくロマンチックな歌だろうか。私は、詩や短歌・俳句なども一つの出会いと思っていて。心の琴線を震わす和歌との出会い。恋に夢見る感受性豊かな高校生のようにこの歌と出会えたからこそ長い年月が経っても忘れずにいるのだろう。

主体的・協働的に学ぶ子どもの育成 ～読む力を高める授業づくりをととして～



1人1台のタブレットが用意され、自分に合った課題を自分のペースで主体的に学んでいく時間があります。(1人で)



自分なりの考えをもち、相手に伝えます。聞くときは、自分の考えと似ているところや違うところを見つけながら聞いています。(ペアで)



班で話し合ったことを、班の代表が他の班の友達に発表します。そして、よりよい考え方を発見していきます。(みんなで)

ふるさと体験学習～住用は最高～



6/5(月)から1週間、名瀬から5名の体験留学生が来ました。うち3名は、和田霜析さん宅、山下弘子さん宅にホームステイ。住用小でいろんな「初めて」を体験し、満足した体験留学になったようです。以下は、留学生の日記の一部です。

Aさん：マングローブはきれいでかっこいい…

Bさん：住用小の友達はみんな優しいので大好き…



7, 8, 9月の行事予定

- 7月 7日(金) 音楽劇 10:30～11:30
(保護者・地域の皆さんも是非お越しください。)
8日(土) リュウキュウアコ観察学習
20日(木) 1学期終業式
8月 1日(月) 出校日 運動会実行委員会
※19:00 住用小・学校職員・PTA・地域
21日(月) 出校日
28日(日) PTA奉仕作業 ※グラウンド整備
9月 1日(木) 2学期始業式
10日(日) 保・小・中・校区合同運動会
20日(水) PTA、スクールカウンセラー来校

本土復帰70周年記念講話



講師に丸田卯禮男先生を招き、復帰当時の町の様子や復帰への思いなどを聞くことができました。「決して武力で争わず、話し合いで解決すること」「島の人の心の強さ、粘り強さ」などを教わり、4年生の元野結美さんは、「奄美大島がより大切になった。」などと感想を述べました。